

高度専門染色体分析研修 募集要項

本研修は、令和3年度 原子力災害対策事業費補助金（原子力災害等医療実効性確保事業）の一環として、量子科学技術研究開発機構が実施するものです。本研修は高度専門的な教育研修と位置付けられます。

なお、本研修の実施にあたっては新型コロナウイルス感染症対策のためリアルタイムオンラインシステム使って開催します。

1. 目的

本研修では、原子力災害発生時に対応するため、実際の染色体検査でみられる様々な状態の標本に対応できる実践的スキル習得を目指す。さらに、自らの施設で作成した標本の評価及びその標本に基づく線量評価の実践、国際標準手順書の知識という、より実際の検査に合わせた経験を積み、発展的技術をも共有することを目指す。以上より、染色体分析による線量評価を自律的にできる人材の育成を図る。

2. 対象者・募集人数

染色体分析研修（令和2年度に当機構で開催した染色体分析研修を含む）を修了または染色体分析に関する知識・技能を有する高度被ばく医療支援センターの職員、臨床染色体検査技師など。

最大20名程度。

3. 開催日時 令和3年12月24日（金）13：00～17：00 （オンライン接続テスト 12：00～12：45）

4. 開催形式 オンライン対話式研修。

5. 研修内容 プログラム参照

6. 受講料 無料。

7. 申込要領

申込期間 令和3年11月8日（月）～12月20日（月）

申込はポータルサイトより申し込んでください。（「[入力操作の手引き](#)」参照）

<https://retms.nirs.qst.go.jp/>



8. 受講決定通知

研修開始日までに所属長及び本人宛の結果をメールで通知します。受講決定後でも社会通念上相当とする理由がある場合は受講決定を取り消す場合があります。

9. 連絡先

〒263-8555 千葉県千葉市稲毛区穴川4丁目9番1号
国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門
放射線医学研究所 被ばく医療部 被ばく医療研修課（量研 被ばく医療研修担当）
Tel： 043 (379) 7808
E-mail： hibaku-training@qst.go.jp

個人情報の取り扱いについて

申込に際して御記入いただきました氏名、住所等の個人情報は、当機構の個人情報保護規程に基づき厳重に取り扱い、本研修の受講記録として管理・保管すること及び、下記の利用目的以外では一切使用致しません。

- ① 原子力施設立地・隣接道府県、原子力規制庁、高度被ばく医療支援センター及び原子力災害医療・総合支援センターからの受講記録照会のため
- ② 受講者への連絡のため
- ③ 講師への情報提供のため
- ④ 研修終了後のフォローアップのため
- ⑤ その他研修業務の遂行のため

※被ばく医療研修ポータルサイトのサイトポリシーもご参照ください。

高度専門染色体分析研修 プログラム

時間		項目
13:00-13:10	10分	開講式
13:10-14:40	90分	講義「高度染色体分析法」 分析法に関する最新の技術開発情報、実施する上での留意点及び生物学的線量評価に関する国際標準化機構（ISO）プロトコールの内容
14:40-14:50	10分	休憩
14:50-16:20	90分	演習「高度画像解析演習」 染色体分析研修よりも判断が難しい画像や、様々な施設や様々な品質の画像に対して、判定の統一化を図るための練習
16:20-16:50	30分	総合討論
16:50-17:00	10分	閉講式

※開講式開始 15 分前までにオンライン接続を完了してください。

※講義時間等に変更となる場合があります。